

[00:00:00.090] - Noriko

みなさん、今日の特別ゲストは、久しぶりのコラボになります。The Real Japanese PodcastのHaruka先生がゲストです。今日は、実は、私のプレミアムメンバーシップのみなさんも一緒に、インタビューを生で聞いてもらっています。つまり、公開生録音をしているんですね。前半は、はるか先生と私で自由にフリートーク。後半は、メンバーさんからの質問をはるか先生にしてみます。

[00:00:27.120] - Noriko

はるか先生、今日はよろしくお願いします。

[00:00:29.730] - Haruka

はい、よろしくお願いします。

[00:00:31.920] - Noriko

ようやくね、コラボがまた実現しました。

[00:00:36.480] - Haruka

本当ですね、いやーどうですか。お体の方はお元気ですか。

[00:00:39.420] - Noriko

おかげさまで、もう今月になって絶好調になりました。

[00:00:42.960] - Haruka

よかった。

[00:00:45.690] - Noriko

本当にね。

[00:00:47.400] - Haruka

さすが。

[00:00:48.630] - Noriko

さすが、人間は、素晴らしいですね。回復するもんですね。

[00:00:50.520] - Haruka

おー、早い。

[00:00:53.760] - Noriko

いや、結構でも1ヶ月ちょっとやっぱり、ぼちぼちだったんですけど、なんか4月になって急に何か良くなってきました。

[00:01:03.090] - Haruka

ああ、やっぱちょっとあったかくなったから。

[00:01:05.340] - Noriko

ある、あると思いますね。天気も良くなったしね。

[00:01:07.950] - Haruka

かもしれない。よかったです、それは。

[00:01:08.400] - Noriko  
うん、でもはるか先生は。

[00:01:10.890] - Noriko  
ありがとうございます。はるか先生どうなんですか。

[00:01:13.740] - Haruka  
私は変わらずずっと元気ですね。

[00:01:16.290] - Noriko  
本当に、良さそう。いい、いい。最近なんかゲーム中継とかやったり。

[00:01:21.690] - Haruka  
そうですね。それはもう半分私の趣味で。

[00:01:24.070] - Noriko  
ああ、いいですね。

[00:01:25.590] - Noriko  
ね、そうやって、あの、リスナーさんとコミュニケーションを取るのが面白いけど。でもあのぶっちゃけ、今年はどうですか。

[00:01:34.110] - Haruka  
今年は。

[00:01:34.560] - Noriko  
今年。

[00:01:34.560] - Haruka  
どうですかね。

[00:01:36.960] - Noriko  
だってもう4月ですよ。

[00:01:38.760] - Haruka  
いや本当ですよ。あっという間ですね。

[00:01:41.700] - Haruka  
今年はまだ特に何もなくて。ま、でも調子はいいですけど。

[00:01:46.260] - Noriko  
うん、よかった。

[00:01:47.520] - Haruka  
何か絶好調ってわけでもないですね。

[00:01:50.310] - Noriko

あ、本当。

[00:01:50.310] - Haruka

普通に。

[00:01:50.310] - Noriko

普通に。

[00:01:53.310] - Haruka

問題なく生活してますという気持ち。

[00:01:53.940] - Noriko

そっか、そっか、仕事は順調ですか。

[00:01:57.880] - Haruka

ま、そうですね。順調かな。でも最近、その何て言うんだらうね。そのワークフロムホームが終わった人とか結構いて、レッスンができなくなっちゃったり。

[00:02:10.470] - Noriko

ありますね。

[00:02:12.660] - Haruka

うん。出張が入って、ちょっと今週レッスンできませんっていう人、結構増えて。

[00:02:15.990] - Noriko

あるある。皆さん忙しくしてますよね。

[00:02:20.790] - Haruka

うん。

[00:02:21.510] - Noriko

あと、なんか、

[00:02:21.510] - Haruka

まね、いいけどね。

[00:02:21.900] - Noriko

あ、ごめんなさい。

[00:02:22.560] - Noriko

生徒さんで旅行をし始めてる人も多いんじゃない。

[00:02:26.250] - Haruka

多いです。今週。

[00:02:28.497] - Noriko

そうそうそう。

[00:02:28.740] - Haruka  
言っているのか、3人、ハワイに行ってる人いますね。

[00:02:32.250] - Noriko  
何かあるのか、ハワイに。

[00:02:34.800] - Haruka  
あれ、みたいな。みんな別々なはずなんだけど、みんなハワイ行ってて、とか。

[00:02:37.540] - Noriko  
いいな。そうそうそう。

[00:02:39.900] - Haruka  
沖縄とかね。

[00:02:41.010] - Noriko  
ああ、本当に。みんなね、移動し始めましたよね。今年は。

[00:02:45.120] - Haruka  
ですね。

[00:02:46.980] - Noriko  
でさ、早速だけど、はるか先生も移動するじゃないですか。うまい？うまい？

[00:02:54.270] - Haruka  
ですね、うまいかな？うまいのかな。気付いてましたけどね。

[00:02:57.480] - Haruka  
来るなどは。

[00:02:57.930] - Noriko  
あ、そっかそっか。

[00:02:57.930] - Haruka  
カナダの話ね。

[00:03:00.330] - Noriko  
そうそう。カナダ、カナダに行くじゃないですか。

[00:03:03.810] - Haruka  
はい、そうなんです。私は7月から8月の終わりまでカナダに滞在する予定です。今のところ。

[00:03:12.660] - Noriko  
うんうんうん。一人で。

[00:03:13.110] - Haruka  
2か月。一人ですね。

[00:03:15.510] - Noriko  
どうして。連れは、連れは一緒に行かないんですか。

[00:03:19.140] - Haruka  
連れは、やっぱね。でも長期間休みを取るのは無理ですね。

[00:03:26.640] - Noriko  
うん、でしょうね。

[00:03:27.300] - Haruka  
無理。ま、誰も家族も、ま、友達も無理っていう感じですね。短期間で行くのはもったいないので。

[00:03:35.490] - Noriko  
いや、もったいないよね。せっかくだし。

[00:03:37.950] - Haruka  
そうそうそう。

[00:03:38.280] - Noriko  
まあ、向こうでカナダでも仕事ができるもんね。私たちのライフスタイル、そのやり方だと。

[00:03:45.630] - Haruka  
そうですね、元々、それがやりたくて、フリーランスになったっていうのもあるので。

[00:03:50.430] - Noriko  
え、カナダのどこに行くんですか。

[00:03:52.980] - Haruka  
カナダのバンクーバーです。

[00:03:54.540] - Noriko  
バンクーバーか。

[00:03:55.320] - Haruka  
ね、オタワって書いてある人いる。

[00:03:57.270] - Noriko  
そうそうそう、そうなんですよ。

[00:03:59.430] - Noriko  
マリリンさんっていう方はね、オタワに。うん。そう、いいね、じゃあ楽しみでしょう。

[00:04:05.460] - Haruka  
いや、今もうそのことしか考えて生活してないですね。

[00:04:09.840] - Noriko  
ちょっとテンション、上がります。

[00:04:12.120] - Haruka

そうですね。もう、何しようとか、もう、今のうちにもう何を持って行こうとか考えてますから。

[00:04:19.350] - Noriko

あの、現地に、あの、生徒さんもいるんですか。実際に会えそうなの。

[00:04:23.550] - Haruka

そうですね、います。一人ですけど、バンクーバー付近に住んでる人が一人いますね。

[00:04:29.850] - Noriko

そうかそうか。いや、あの、思い切って、ま、変な人が来ると困るけど、あ、でも大丈夫と思う。あの、私とミーティングしましょう、みたいな、なんか。

[00:04:39.120] - Haruka

ああ、そうですね。

[00:04:41.450] - Noriko

現地集合とか言ったら、意外と何人か、来るかもしれませんよ。ポッドキャストのリスナーさん。

[00:04:47.130] - Haruka

確かに面白いかもしれない。

[00:04:49.950] - Noriko

うんうん、そういうのもね。

[00:04:50.280] - Haruka

オフ会っていうやつですね。これはね。

[00:04:51.390] - Noriko

そうそう。私も何かやってみたいですね。

[00:04:54.630] - Haruka

確かに、ま、東京でもできるっちゃできるかもな、もう、そろそろ。

[00:04:58.710] - Noriko

そうですね。やってみたらいいんですよ。え、あの一。実際の生徒さんじゃなくて、リスナーさんとお会いした経験とかありますか。

[00:05:08.700] - Haruka

いや、ないです。でも、私、あの、生徒さん、のもの、会ったことない、一人だけですね、会ったことあるの。

[00:05:16.200] - Noriko

実際に。

[00:05:17.400] - Haruka

実際に。

[00:05:18.210] - Noriko

ま、私もプライベートレッスンの生徒さん、実際にお会いしたことは一回だけです。

[00:05:24.000] - Noriko

そうですね。で、リスナーさんに実際お会いしたのも一回だけですね。はいはい。

[00:05:27.420] - Haruka

あ、えー。

[00:05:29.130] - Noriko

実際にね、うんうんうん。

[00:05:29.610] - Haruka

リスナーさんはないですね。私のコミュニティメンバー、ま、いるんですけど、も会ったことない。

[00:05:36.900] - Noriko

本当に。いや面白いですよ。意外と。

[00:05:40.020] - Haruka

会いたいですね、本当に。

[00:05:40.800] - Noriko

うんうん、そうですね。

[00:05:42.960] - Haruka

お話したい。

[00:05:42.960] - Noriko

やっぱり深く繋がっていくと、次はちょっとね。実際に会いましょう、みたいなね。

[00:05:49.020] - Haruka

本当ですね。直接。

[00:05:51.510] - Noriko

だから私行きますよ、皆さん。って言ってるけど、なかなか行けないよね。

[00:05:58.680] - Haruka

ね。

[00:05:59.640] - Noriko

実際は難しい、そうそうそうそう。

[00:06:04.020] - Haruka

結構私のリスナーさんは、アジアの国の方が多いですよ。

[00:06:07.950] - Haruka

台湾とか韓国とかベトナムとか。どこも入れないんでね。

[00:06:12.570] - Noriko  
そうなんだよね。

[00:06:12.570] - Haruka  
行きたいですけど、どこも入れない。

[00:06:15.120] - Noriko  
厳しいよね、まだ。

[00:06:15.900] - Haruka  
香港とか。

[00:06:17.580] - Noriko  
じゃあカナダは今結構自由に行き来ができるんですね。

[00:06:22.140] - Haruka  
自由ですね。あの、ワクチン接種証明書があれば、コロナのチェック、テストもいらない。

[00:06:32.310] - Noriko  
ああ、素晴らしい。そうか、でも、逆に帰ってくる時に必要なのかな。日本に。たぶん。

[00:06:38.400] - Haruka  
いや、でも、ワクチン 3回打ってたら、しなくていいらしいですよ。

[00:06:44.010] - Noriko  
あ本当に、そっか。

[00:06:45.480] - Haruka  
なんか、オフィシャルには。

[00:06:46.440] - Haruka  
そう書いてないんですけど、最近日本に入ってきた人は、なかったって言ってましたね。隔離。

[00:06:53.430] - Noriko  
本当に。そっか、じゃ、ま、行けますね。行って帰って来れますね。大丈夫そう。

[00:06:58.290] - Haruka  
問題なく行けるかなって。

[00:07:00.840] - Noriko  
何を予定なんですか。メインは、もう遊ぶ。

[00:07:03.930] - Haruka  
遊ぶ、その、リラックス。

[00:07:06.110] - Noriko  
そう、リラックス。

[00:07:07.820] - Haruka  
自然。

[00:07:08.870] - Noriko  
自然。

[00:07:08.870] - Haruka  
を見る、みたいな感じですね。

[00:07:12.770] - Noriko  
ハイキングとか。

[00:07:14.630] - Haruka  
そうそう。ま、あの、大学時代にカナダにちょっと半年ぐらい住んだことがあるんですけど、だから、なんだろう。その生活をもう一度、リラックスしながらしたい、っていう。

[00:07:28.670] - Noriko  
あ、いいですね。やっぱり自然ですよ。

[00:07:31.160] - Haruka  
そう

[00:07:32.180] - Noriko  
空気がきれいなのかな。

[00:07:33.500] - Haruka  
そう、東京にはないものがある。

[00:07:38.000] - Noriko  
そうか、そうだろうか。

[00:07:39.050] - Haruka  
自然で、

[00:07:39.480] - Noriko  
そうですね。きっとね。

[00:07:40.790] - Haruka  
すごいリラックスしてる、みんな。

[00:07:43.430] - Noriko  
で、おいしいものも多いらしいですね。カフェとか。レストランとか。

[00:07:46.910] - Haruka  
そうですね。アジア系の人多いんでね。中華料理とかもおいしいし、韓国料理もあるし。

[00:07:52.160] - Noriko  
いいないいな。そっかそっか、ああ楽しみだな。

[00:07:56.750] - Haruka

ね、いや私はあのイギリスとか、ま、北のね、北ヨーロッパの方にも行きたいんですけどね。

[00:08:03.440] - Noriko

いやいや行けますよ。本当にこれから多分。

[00:08:05.900] - Haruka

いや、いけると思うね。

[00:08:07.820] - Noriko

ほんとにね。ま、日本とか、そのさっき言ったね、近くの国々はちょっとまだ厳しいルールがあるけど、全然、他の国では、ものすごい移動してますね、みんな。

[00:08:20.210] - Haruka

ね。

[00:08:20.780] - Noriko

大丈夫と思いますよ。

[00:08:23.570] - Haruka

でも、のりこ先生は、逆に日本に来る予定とかって、どうですか。

[00:08:28.940] - Noriko

いやちょっとね。だから本当は夏ぐらいに行きたかったんだけど、やっぱ、手術しちゃったじゃないですか、ね。だからちょっとそれで躊躇して、ちょっと出遅れて、出遅れてしまっ。

[00:08:40.580] - Haruka

出遅れたって。

[00:08:41.840] - Noriko

予定がちょっと立たなくて。で、どうしよう。どうしようって言うてる間にですね。あの一、義理の両親が、ヨーロッパに来ることが決まっちゃって、

[00:08:51.200] - Haruka

おお。

[00:08:51.200] - Noriko

はい、夏に。だから、夏はここにいなきゃ、ここっていうか、また、スウェーデンとコペンハーゲン、デンマークに行く予定なんですけど、あそこに旦那さんの家族大集合みたいになっちゃってるんですね。なので、ちょっと普通の旅行はちょっとしばらく行けそうにないですね。それがちょっと優先っていうか。

[00:09:12.170] - Haruka

なるほど、確かにそうですね。ああ。じゃ、来年とか。

[00:09:17.210] - Noriko

かな・・・それかね。ちょっと年末ぐらいに行けたらなと思ってるんですね、年内に。

[00:09:21.050] - Haruka  
年末も良いですね。

[00:09:23.090] - Noriko  
そうそう、一人でもね。でも、旦那さんが一緒に行こうって言ってて、一人で行くと、いじける、いじけるというか……

[00:09:28.860] - Haruka  
はは、。

[00:09:30.080] - Noriko  
かわいい……そうそうそう。かわいいのか、うっとうしいのか、聞いているから、その辺で聞いて……

[00:09:36.350] - Haruka  
良く言えばかわいい。

[00:09:37.970] - Noriko  
良く言えばかわいいけど。

[00:09:39.560] - Haruka  
かわいい。

[00:09:39.660] - Noriko  
なんで一緒に行かないのって言って。でも、あなた、ちょっとね、外国人で、ちょっと面倒くさいじゃないですか、今の状況で、いろいろ。

[00:09:47.840] - Haruka  
確かに。手続きとかありますし。

[00:09:49.250] - Noriko  
いろいろね、手続きが、そうそう、だから、それがなくなったら一緒に行こうって言うてるんだけど、じゃ、その前に私は一人でまずは行きたいって言うてるんだけど、なんかね、ぶつぶつぶつぶ。一緒に行こう、一緒に行こう、て……

[00:10:02.420] - Haruka  
寂しいな。

[00:10:03.680] - Noriko  
とか言うんですよね。

[00:10:04.160] - Haruka  
ええ、いいですね、かわいらしい。

[00:10:08.420] - Noriko  
いや、いいのかどうか。でも、ちょっと、ちょっとプライベートのこと、言ってもいいですか。

[00:10:13.310] - Haruka

はいはいはい。

[00:10:14.300] - Noriko

私は本当に何か、思い、思い違いというか、とても勘違いをしております、はるか先生は独身だと思込んでたんですよ、最近まで。

[00:10:23.750] - Haruka

あ、なんかすごい言われるんですよ。

[00:10:25.680] - Noriko

あ、そうなんだ。で、たまたま……

[00:10:27.890] - Haruka

結構言ってるんですけどね、みんなに。

[00:10:29.450] - Noriko

ポッドキャストでインタビューするから、ちょっと聞いてみようと、聞いてみて、「旦那さんが……」で言ってたから、あれ？

[00:10:37.220] - Haruka

そうそうそう。

[00:10:37.220] - Noriko

いつ、いつ、とかと思って。いつから、みたいなの。

[00:10:40.040] - Haruka

私最初から言ってるんですけど、結構。

[00:10:42.140] - Noriko

そうか、じゃ私は見逃してたんですね。その情報を。

[00:10:46.130] - Haruka

いまだに、先週ぐらいにコメントでも。

[00:10:47.750] - Haruka

えっ結婚してるの、びっくりですって言われて。

[00:10:49.670] - Noriko

そうそうそう。

[00:10:51.680] - Haruka

結構ずっと言ってるんですけど、

[00:10:53.270] - Noriko

あ、そっか、ごめんなさい。そう。

[00:10:53.570] - Haruka

なぜかみんな私を独身だと……

[00:10:54.690] - Noriko  
そう勘違いしていました。

[00:10:57.300] - Haruka  
いえいえいえ、そうそうそう。

[00:11:01.160] - Noriko  
そうなんだ、ええ、じゃ旦那さん寂しがらないですか、2ヶ月くらい行っちゃうの。

[00:11:04.280] - Haruka  
いや、ま、でも、たぶん、寂しさはあると思うんですけど、結構何て言うの、フリースタイルな夫婦です。

[00:11:14.540] - Noriko  
いいですね、いいですね。

[00:11:15.320] - Haruka  
っていう感じです。

[00:11:16.300] - Noriko  
素晴らしい。

[00:11:16.300] - Haruka  
やりたいことをやろう、ぜ。

[00:11:18.470] - Haruka  
っていうタイプ。

[00:11:19.220] - Noriko  
いや、いい、いい。私はそういうの大賛成。大賛成。

[00:11:24.560] - Haruka  
ま、一緒に行けたら最高ですけどです。

[00:11:26.420] - Noriko  
ですよ。

[00:11:26.780] - Haruka  
休めないんでね。

[00:11:29.340] - Noriko  
あ、あの、旦那さんは普通の会社員？

[00:11:32.120] - Haruka  
会社員ですね。

[00:11:32.780] - Noriko

そうか、そりゃそうだよね。

[00:11:34.010] - Haruka  
出社もするし。

[00:11:37.940] - Noriko  
そうか・・・あの、コロナの時ずっとリモートワークじゃなかったんですか。

[00:11:42.500] - Haruka  
リモートの時もありましたね。そうそうそう。

[00:11:47.390] - Noriko  
そっか、でも大体はもう出勤なんですね。今。すごいな。

[00:11:53.330] - Haruka  
出勤、ま、何か自由らしいんですけど、旦那さんは、その、出勤した方が気分転換になる。ずっと家にいるとやっぱり、集中できないので。

[00:12:04.700] - Noriko  
そうだよね。そうかそうか。なんか私たちみたいな仕事はとても時間が不規則というか、なんか、朝早くレッスンがあったり、夜遅くレッスンがあったりするじゃないですか。そういうことも結構旦那さん自由に、ああ、いいよみたいな感じで。

[00:12:19.160] - Haruka  
ああ、もう。

[00:12:20.090] - Noriko  
素晴らしい。

[00:12:20.630] - Haruka  
結構仕事に対してお互い自由な感じは・・・

[00:12:24.830] - Noriko  
そうですね。私も結構、その辺は自由にさせてもらってるかな。

[00:12:30.440] - Haruka  
うーん。

[00:12:30.440] - Noriko  
いいですね。

[00:12:31.760] - Haruka  
そうですね。そうです。でも、そうだ、思い出した。今年調子どうって言われて1個ありました。

[00:12:38.150] - Noriko  
なんですか。

[00:12:39.170] - Haruka

あの、ずっと家での仕事が結構きつと感じるようになってきた。

[00:12:43.610] - Noriko  
あ、本当に、そうか……

[00:12:47.530] - Haruka  
結構。そう、それでカナダに行くことも決めたんですよね。

[00:12:50.690] - Noriko  
いい。いいタイミングですね、ちょうどね。2か月だと、

[00:12:54.650] - Haruka  
なんかこう……

[00:12:54.650] - Noriko  
かなりリフレッシュできるんじゃない。

[00:12:57.530] - Haruka  
そう、そうそうそう。何かこうずっと家で仕事していると、モチベーションもなんか、こうだんだん、下がるというか、変わらない感じ。

[00:13:07.670] - Noriko  
なんかね、自分から積極的に何か刺激をもらわないと、なんか、

[00:13:11.750] - Haruka  
そうそう

[00:13:12.200] - Noriko  
ね、生活も一定というか。

[00:13:15.350] - Noriko  
それはそれで良いことなんだけどね。

[00:13:18.560] - Haruka  
何かをしようっていう気持ちにならなくて、なかなか。

[00:13:21.920] - Noriko  
わかるわかる。

[00:13:23.330] - Noriko  
え、じゃあ逆にね。カナダに行って、何か面白いポッドキャストのエピソードとかできそうですね。

[00:13:29.630] - Haruka  
そうですね。そうですね。それも楽しみですね。

[00:13:33.200] - Noriko  
そうそう。なんか、そういうことがね、経験がネタになる、というか。話せるというか。

[00:13:38.870] - Haruka  
確かに。そうですね。

[00:13:40.820] - Noriko  
そう思うんですよ。いいですね。

[00:13:43.400] - Noriko  
え、じゃあ、はるか先生から、何か私にないですか、急に。急に。

[00:13:46.130] - Haruka  
急に

[00:13:50.540] - Haruka  
えー、なんだろうなあ、でもまあ今年、初コラボですもんね。

[00:13:56.630] - Noriko  
そうですね。本当にお久しぶりで。本当はね、早くしようって声をかけていただいていたのにね、ごめんなさい。

[00:14:02.870] - Haruka  
いやいやいやいや、やあ元気になってからで全然良かったので。

[00:14:06.350] - Noriko  
ありがとうございます。

[00:14:07.050] - Haruka  
なんか、今年の、のりこ先生の、なんか、チャレンジみたいの、あります。

[00:14:14.060] - Haruka  
目標というか、ちょっとやりたいな、ぐらいの。

[00:14:18.350] - Noriko  
あの、まだまだですね。その、本当にね、いっぱいアイデアとかプランとか、なんか、あったんだけど。もう今年ね、本当にちょっと1月2月3月ガタガタで…だからようやくこれからって感じかな、正直。

[00:14:33.900] - Haruka  
そうですね。

[00:14:35.090] - Noriko  
そのプライベートでもいっぱいやりたいことがあったけどできなかったし、なんか、遅れちゃったし。

[00:14:41.150] - Haruka  
うん

[00:14:41.150] - Noriko  
例えばさ、あの、私、まだ細々と韓国語の勉強してるんだけど。

[00:14:45.170] - Haruka  
はいはいはいはい。

[00:14:46.790] - Noriko  
あの、1月も、ものすごい1月2月、めちゃくちゃ頑張る予定だったけど、全然頑張れなかったし。

[00:14:52.370] - Haruka  
なるほど。

[00:14:53.810] - Noriko  
だからちょっと本当に今年はゆっくりスタートですね。それでもいいかと思って。

[00:14:59.960] - Haruka  
なるほどなるほど、いや、いいと思いますけど。ぜんぜん。

[00:15:02.450] - Noriko  
そういう年もね、あってもいいと思う。

[00:15:04.970] - Haruka  
わたしもそういうタイプなんですよね。私もそういうタイプ。ゆっくり。

[00:15:11.980] - Noriko  
そんな感じ、うんうん、でもどうですか。そのYouTube、ね、その、さっきちょっと言ったけど、ゲームの中継もやったり、ポッドキャストもさ、最近もずっと顔出しで。カメラでね、録画して、あれもすごいなと思うんだけど。

[00:15:25.150] - Haruka  
そうですね。確かに。

[00:15:26.890] - Noriko  
あれを、今年も定期的に続けていく感じ。

[00:15:30.880] - Haruka  
そうですね。もうなんかもう、なんて言うの、もう戻せない、というか。

[00:15:38.690] - Noriko  
やっちゃいました。

[00:15:39.050] - Haruka  
一回やったからには、

[00:15:39.680] - Noriko  
そうそう、そうだよ。そういうことあるよね。

[00:15:42.080] - Haruka  
もう戻せないし。

[00:15:44.040] - Haruka

まあ録画して喋ってた方が、やっぱり、あの、みんな、なんていうの、分かりやすい、という人、

[00:15:53.570] - Noriko

そうだと思うね、そうだと思う。

[00:15:55.950] - Haruka

多かったので。

[00:15:56.810] - Haruka

ビデオ PODCAST、最近結構流行ってますね。

[00:15:59.990] - Noriko

ね、皆さんやっていますね。うん、そうか。

[00:16:02.600] - Haruka

そう。

[00:16:04.310] - Noriko

私はやっぱりちょっと顔を出せないなあ。

[00:16:05.180] - Haruka

いや、でも、いいと思いますよ。まだまだやっぱりポッドキャストは、音声だけがいいっていう人もいますね。

[00:16:12.290] - Noriko

いろいろですね。いろいろね。

[00:16:13.700] - Haruka

そうそうそうそう。

[00:16:15.410] - Noriko

なんかもう私はかなり始めたけど、やめてしまったことも多くて。

[00:16:21.080] - Noriko

あ、そうなんですな。

[00:16:22.910] - Noriko

うんうんうんうん。私は、あの、多分本当に何でもやっちゃう。もう何も考えずにやっちゃうタイプだから。失敗も多い、というか。

[00:16:29.300] - Haruka

いいと思います。行動力・・・

[00:16:29.990] - Noriko

で、やっちゃうって、ああ、もうやめたってことももちろんあるから。

[00:16:34.040] - Noriko

やめちゃったこともたくさんあってですね。

[00:16:36.890] - Haruka

へー、全然気づかなかったですね。

[00:16:39.710] - Noriko

だから YouTube ももう今はちょっとめんどくさくなっている。あげるのがね、あげるのがね。あげるのこそね、

[00:16:46.520] - Noriko

もうビデオもやってないのに、音声だけあげてるくせに、簡単なくせに、それさえも今面倒くさいと思っている私。

[00:16:54.470] - Haruka

いいと思いますよ、だって、私もインスタとツイッター、全然やってないですからね。ちょっともしかしたらみんな気付いてるかもしないけど、本当に苦手なんですよ。私もそういうの。

[00:17:07.280] - Noriko

だから、そうそうそう、苦手なことってやっぱりあるから。だから。

[00:17:11.780] - Noriko

一生懸命やってたけど。

[00:17:13.550] - Noriko

もう頑張らなくてもいいかなって思うようになってきた自分もいますね。

[00:17:19.040] - Haruka

うん。自分が好きなことをね、継続するのがいいんじゃないです、かなって私は。

[00:17:25.910] - Noriko

そうですね。

[00:17:26.210] - Haruka

自分に言い聞かせますね。

[00:17:27.710] - Noriko

その通りですね。でも、やっぱりはるか先生の中で、

[00:17:30.860] - Noriko

ま、好きなことは、やっぱり、その、直接のレッスンとポッドキャストなのかな。

[00:17:35.750] - Haruka

そうですね。

[00:17:37.370] - Haruka

ポッドキャストと、ま、YouTube も好きですけどね。

[00:17:39.920] - Noriko

うんうんうんうんうん。

[00:17:40.940] - Noriko  
他の SNS に比べると、YouTubeのほうが好きですね。

[00:17:42.380] - Noriko  
ああ、なるほどね。

[00:17:42.380] - Haruka  
編集も嫌いじゃない。

[00:17:46.940] - Noriko  
あ本当にすごい。私はそこで折れましたね。編集がいまだに。

[00:17:50.621] - Haruka  
いや確かにね。

[00:17:51.720] - Noriko  
でも、やろうと思えば、多分、学べると言うかね、勉強できるんだと思うけど。それはちょっと私の、怠慢ですね。やらなかった。

[00:18:00.230] - Haruka  
ま、でも全部やる必要は絶対に、うん、ない。

[00:18:03.740] - Noriko  
ない。

[00:18:03.740] - Haruka  
ないことにしましょう。本当に。先生達忙しすぎるので。

[00:18:08.000] - Noriko  
そうだよな。

[00:18:09.290] - Haruka  
みんな全部やる必要はないのになって。

[00:18:10.340] - Noriko  
そうなんだよね、がんば、頑張りすぎちゃったね、最初ね。

[00:18:14.880] - Haruka  
うん、思います。

[00:18:16.700] - Noriko  
わかるわかる、そっかじゃあこのぐらいかな。なんか最後にフリートークのところで、はるか先生、どうしても話しておきたいことありますか。

[00:18:23.960] - Haruka  
何ですかね。何ですかね。

[00:18:26.450] - Noriko

私はね、カナダについて、やっぱり一番聞きたかったから。

[00:18:29.690] - Haruka

確かに確かに。あ、でもそうだ。最近、やっぱり私のレッスンっていうか、Patreonのメンバーの方とかで、ライティングチャレンジ参加しましたっていう人、結構いらっちゃって。のりこ先生の。

[00:18:43.460] - Noriko

そうか、そうかそうか。

[00:18:45.530] - Haruka

いやー、だから聞きたいことというか。その、やっぱり、日頃からのリスペクトというか、のりこ先生のやることがなんかすごいなあって、私は思ってます。いつも。

[00:18:57.920] - Noriko

まあ、ライティングチャレンジは、は、私が面白いと思ったので、やってみたっていうのと。

[00:19:06.230] - Noriko

実は、私も韓国語の先生とライティング、韓国の先生がやってるライティングチャレンジに参加したことがあって、ものすごい大変だったけど、ものすごい勉強になったんですよ。で、それが元になって、じゃあ私もやってみようみたいな感じかな。

[00:19:19.520] - Haruka

なるほど、なるほど。いや、いいアイデアだなって。かなりそのPatreonの数もね、のりこ先生は多いし。

[00:19:29.810] - Noriko

いや、いや、Patreonも難しいよね。これはもう……

[00:19:32.960] - Haruka

いや、難しいですよ。

[00:19:33.130] - Noriko

Patreonの話をすれば、ちょっとね、もう、今日終わらないんですよ。終わらないで……色々いろいろちょっとね私も考えることがありますけど、

[00:19:42.950] - Haruka

いやあ難しい。

[00:19:45.410] - Noriko

難しい。難しいと思います。

[00:19:46.460] - Haruka

やっぱり0円と1円って全然違うなって思いますよね。払う側として。0円だったら全然いいけど、1円払ってなってもやっぱりちょっと迷っちゃうものがあるだろうなと、思って。

[00:19:58.430] - Noriko

難しいですね。ま、ただですね。その、

[00:20:02.480] - Noriko

はるか先生。これだけは、じゃ最後に、あの、今その、二月、今年、それこそ今年になって新しいプロジェクトとして、プレミアムメンバーシップというちょっと高いメンバーシップを始めたんですけど。あの、逆に、何ですかね。うまく説明できないけど、その私が色々調べた。研究したりサーチした結果はですね。やっぱりお金を払うから、みんな積極的に参加するんですよ、たぶんね。で、正直、これを言うところのちょっとものすごく悪いかもしれないけど、私自身もそうなんです。私いろいろな先生のサポートをしてるんですけど、一つは、ものすごく好き、頑張ってもらいたいからサポートする。

[00:20:42.800] - Noriko

それはそれでいい。で、もう一つは、じゃ、かなり高いメンバーシップでもそれ、その分見返りがある。だから私ももっと積極的に参加するという仕組みなんですよね。たぶんね。なので、安ければ安いだけの利用法、利用程度なんです。これはちょっと問題発言かもしれない。あとで、カットするかもしれないけど。

[00:21:01.370] - Haruka

なるほどね、でも、でもわかります、わかります。

[00:21:04.520] - Noriko

私すごい勉強しました。メンバーシップのやり方。

[00:21:08.450] - Haruka

ですね、奥が深いメンバーシップは。でも、ま、モチベーションが高い人はもちろんね、そのね、高いお金を払って参加してくれると思います。

[00:21:19.070] - Noriko

そう思います、で、その分みんな積極的に参加するようになると思うんですね。私はそういうメンバーシップを作りたくて、あの、ま、思い切って高くさせていただきました。

[00:21:30.410] - Haruka

いや、素晴らしいと思いますね。そのコンテンツを用意するっていうのは、やっぱりプロじゃないとできないことじゃないですか。それは、のりこ先生のいいところ。

[00:21:39.470] - Noriko

でも、ま、難しい、難しいです。正直言って。

[00:21:43.240] - Haruka

ま、ね。

[00:21:43.240] - Noriko

大変、大変ですね。

[00:21:45.200] - Noriko

そんな感じかな。ま、頑張りましょうね。あの、ぜひ。

[00:21:48.620] - Haruka

頑張りましょう、お互い。

[00:21:49.340] - Noriko  
また、コラボを呼んでくださいね。

[00:21:51.200] - Haruka  
ああ、ぜひぜひぜひ。

[00:21:54.470] - Haruka  
リクエスト来てるので、コラボしてください、誰かと。

[00:21:56.880] - Noriko  
あ、そうですか。本当に。誰かと・・・

[00:21:58.730] - Noriko  
じゃね、私で良ければ、

[00:22:01.370] - Haruka  
ぜんぜんのりこ先生で

[00:22:03.260] - Noriko  
いつでもかけつけますので。YouTube。ま、なるべく顔は出したいけれども、

[00:22:08.680] - Haruka  
全然全然。

[00:22:09.830] - Noriko  
加工していただけなら。加工・・・加工

[00:22:14.510] - Haruka  
めっちゃ、きゅ一つて、

[00:22:14.510] - Noriko  
そうそうそう。きれいな、テカテカ、ピカピカ肌にしてくれるなら全然 OK です。

[00:22:23.000] - Noriko  
こんな感じでいいかな。みなさんどうでした。じゃあ、ここで一回前半を終わってみましょう。ありがとうございました。はるか先生。

[00:22:29.680] - Haruka  
ああ、こちらこそありがとうございました。

[00:22:32.750] - Noriko  
じゃあ、あの、早速ですね。第2部。

[00:22:36.050] - Haruka  
はい。

[00:22:36.770] - Noriko

じゃあ 第2部はまず私がいただいた質問を私からしていきたいと思うんですけど、これはですね、あの、東京に住んでいるリーさんから、多分今日聞いてくれてる方ですね。じゃあ、私が代わりに質問。はるか先生は花粉症がありますか。ある場合、いい対処法など、知っていることがありますか。

[00:22:57.150] - Haruka

花粉症かあ。いや、ない、

[00:23:00.900] - Noriko

ラッキーだね。

[00:23:00.900] - Haruka

と信じている。

[00:23:06.330] - Noriko

それはポジティブなパワーですね。信じてる。

[00:23:08.130] - Haruka

ないと信じてる。いや、でも私、前ポッドキャストで話したことがあるんですけど、アレルギー検査をしたんですよ。最近。

[00:23:19.470] - Noriko

いいですね。

[00:23:21.090] - Haruka

そう。私は、あの、ハウスダストアレルギーがあって

[00:23:25.620] - Haruka

そのために検査しに行った時に、あれって、あの、レベルが出るんですよ。6 がマックスで。

[00:23:33.390] - Noriko

え、面白い。

[00:23:34.620] - Haruka

そう。1、0、だと何もない。1だと何か全然特に問題はないとか。6だと薬とかで治療した方がいいってやつで。あの、スギ花粉、ですね。もしかしたら日本に住んでいる方だったらわかるかもしれないんだけど、スギって日本にある木、の花粉が一番みんな大変なんですよ。スギ花粉っていうが。そうそうそう。そのレベルが、私 4 だったんですね。

[00:24:03.330] - Noriko

あ、でも高い方じゃない。

[00:24:05.330] - Haruka

そうなんですよ。で、なんか最近確かにくしゃみするような気がするし、鼻水も出るような気がする。

[00:24:14.960] - Noriko

やばい。

[00:24:16.400] - Haruka

それがハウスダストのアレルギーなのか。スギなのか、風邪なのか、コロナなのか、よくわかんない、ていう。

[00:24:27.230] - Noriko

そっか、気をつけて、気をつけて。

[00:24:28.580] - Noriko

突然ね、

[00:24:28.580] - Noriko

だから信じて。

[00:24:29.330] - Noriko

出てくるって言うからね。

[00:24:30.500] - Noriko

そうそう。気合い、気合いで。

[00:24:32.660] - Haruka

そうそう、信じてる。

[00:24:33.500] - Noriko

面白い。私は大丈夫だと。

[00:24:36.920] - Haruka

そうそうそう。そういう状況です。

[00:24:38.990] - Noriko

面白かった。ありがとうございます。じゃあ 2つ目の質問ね。2

[00:24:42.080] - Noriko

じゃあ、これはドイツに住んでいるマリアさんが直接質問したいということなので、じゃあ、マリアさん、あのミュートをオンに換えてもらって、カメラをつけてくれてもいいんですよ。はい、あの、お願いします。

[00:24:55.460] - Haruka

はい。

[00:24:57.390] - Maria

はい。こんにちは。

[00:24:58.520] - Haruka

こんにちは。

[00:25:01.040] - Maria

はい、行きます。はるか先生のポッドキャストでは、よくマンガやアニメのエピソードがありますね。はるか先生は、漫画やアニメのコンテンツ、コンテンツで勉強することは、役に立つと思いますか。漫画やアニメ、ドラマなどで勉強することの良い点と悪い点を教えてください。

[00:25:24.860] - Haruka

うん、ありがとうございますってことは、ちょっと聞いていただけてるのかもしれない。ポッドキャスト、ね。

[00:25:33.020] - Haruka

いや、あの、うん、日本語の勉強に私はいいと思いますよ。

[00:25:38.390] - Haruka

漫画もアニメもドラマも。まあ、ただ、そのジャンルを選んだ方がいいですね。例えば、ファンタジーとかのアニメとか漫画って、話す言葉が何か変な言葉を使ったりするじゃないですか。

[00:25:55.520] - Noriko

あるある。

[00:25:57.200] - Haruka

ね、ドラマも、例えば歴史系のドラマだったら、なんか、侍の話とか。拙者は、とか、よくないじゃないですか。

[00:26:05.180] - Noriko

はい。

[00:26:05.510] - Haruka

だからアニメも漫画もドラマも同じで、共通して言えるのは、日常系。普通の生活のお話とか

[00:26:17.300] - Haruka

恋愛とか学校とか。

[00:26:21.500] - Haruka

仕事の話とか。そういうのだったら、全然ためになると思いますよ。

[00:26:27.920] - Noriko

いいですね。

[00:26:28.040] - Haruka

頑張って。

[00:26:28.040] - Noriko

そうそうそう。頑張って頑張って。

[00:26:30.830] - Maria

ありがとうございました。はい。

[00:26:32.090] - Haruka

はい。こちらこそ。

[00:26:34.620] - Noriko

え、じゃあ次へ行きましょう。次も直接質問をしていただけるということで、香港に住んでいるイエンさんから。

[00:26:43.070] - Haruka

はい、香港の方。イエンさん。

[00:26:45.320] - Noriko

じゃ。

[00:26:49.030] - Yen

はい、こんにちは。

[00:26:50.740] - Haruka

こんにちは。

[00:26:51.820] - Yen

はい。こちらは質問です。はるか先生は日本語教師の仕事で、一番つらかった、つらかったことはなんでしたか。どうやって、その状況を克服をしましたか。はい、ありがとうございます。

[00:27:12.460] - Haruka

いやあ、いい質問ですね。つらかったことですね。日本語教師をしていて。これはフリーランスの時ではなくて、日本語学校で働いていた時の話。

[00:27:27.560] - Haruka

になるんですけど、日本語学校で働いているときは1年半ぐらいは、

[00:27:33.380] - Haruka

毎日つらかったです。正直言うと。

[00:27:34.460] - Noriko

あ、本当に。

[00:27:35.450] - Haruka

うん、楽しかったですけど、つらいこともすごくあって。

[00:27:43.040] - Haruka

ま、何もわからなかったっていうのもあるんですけど。一番つらかったのはあの、学生との関係。

[00:27:49.670] - Noriko

本当に。

[00:27:52.220] - Haruka

ですね。その女性で、まだその時。

[00:27:56.530] - Haruka

私も25とかで。でもその学生たちは同じくらい

[00:28:01.790] - Haruka  
の年齢の男性が多くて。あの、私より全然歳の、

[00:28:07.690] - Haruka  
上の人も多かったんですよね。そう。そういう人たちに、なんて言うの、こう、そういう人たちが、例えば、授業に来ない、連絡もない、とか。あの、悪いことをしたとか、授業中によくない態度をしたときに、先生としてちゃんと怒るじゃないけど、叱ったり注意したりしなきゃいけないときとかに、まあ、なんて言うの、うまくできなかつたときとかは、やっぱ、結構、それが一番つらかつたかな。

[00:28:39.120] - Noriko  
いや難しいね、大人同士だからね。

[00:28:41.700] - Haruka  
そうなんですよ。

[00:28:42.360] - Noriko  
小学生とかのさ、子どもに注意するのと違うもんね。難しい。

[00:28:47.790] - Haruka  
そう。だし、やっぱ若い女性で、女の子に言われるのも嫌なんですよね。多分、向こうも。ちょっと、ね。また、先生になったばかりで、だからそういう人間関係っていうのがちょっとやっぱ難かつたですね。教師としては。

[00:29:01.950] - Noriko  
でも先生としてはリスペクトしてほしいし、ね、なんかちょっと、真面目に授業を聞いてほしいっていうのもあるもんね。

[00:29:10.860] - Haruka  
うん。そうそうそうそう。ちょっと強い態度でいなきゃいけないっていうのも、言われてたので。

[00:29:16.740] - Haruka  
なめられてはいけないっていうことですね。そうそうそう。

[00:29:20.070] - Noriko  
じゃあ、それはすぐにちょっと克服できることじゃないね。

[00:29:23.680] - Haruka  
じゃなかつたですね。トラブルもありましたよ。

[00:29:27.610] - Noriko  
これはやっぱ経験かな、経験積んでいくしかないのかな。

[00:29:30.730] - Haruka  
いや、そうですね。経験だし、多分私の性格には多分、そういうやり方が合わなくて、それもあつてフリーランスになつたっていうのもあるんですよ。

[00:29:41.530] - Noriko

なるほどね、そうかそうか。

[00:29:43.960] - Noriko

でもじゃあちょっと話がそれるんだけど、私から追加で、あのフリーランスで、こうオンラインで授業をしている時にも、まあ、だいたい大人の生徒さんですよ。私たちの生徒さん、たぶん、いろんな生徒さんがいるじゃないですか。で、例えば、ま、よく眠そうとか、よくあくびをすとか、何か何かやる気がなさそうな時もありますよね。生徒さん。

[00:30:07.780] - Haruka

あ、ありますよね。

[00:30:09.460] - Noriko

どうしても。でもはるか先生はどうしてますか、そんなとき。

[00:30:14.900] - Haruka

どうしているかな。でもだいたい私のレッスン、

[00:30:19.970] - Haruka

をしてる人たちで、眠そうの時って、すごく疲れてる。仕事終わりで。

[00:30:24.290] - Noriko

そうですね。

[00:30:25.760] - Haruka

もうこんななってる時もたまにあるんですよ。

[00:30:28.310] - Noriko

かわいそう。

[00:30:29.810] - Haruka

相当疲れてるなって。その時は

[00:30:35.130] - Haruka

ま、そんなに注意とかはしないですね。

[00:30:37.620] - Noriko

私もです。私はもう本当にプライベートレッスンで、大人の生徒さんだから。

[00:30:42.570] - Noriko

もう本当に自由にしてもらってます。自由っていうか。

[00:30:45.390] - Haruka

そうですね。

[00:30:45.960] - Noriko

うん。そう。

[00:30:47.700] - Haruka

そうですね。

[00:30:48.140] - Noriko  
じゃ、なんか。

[00:30:48.990] - Haruka  
やる気がないわけではない。

[00:30:49.830] - Noriko  
そうそうそう。だから、その人が何か疲れてるんだったら、あ、じゃあ、

[00:30:53.790] - Noriko  
今日はもうこの文法やらないで、ちょっとフリートークに変えましょうかとかね。なんかちょっと臨機  
応変にやっていますね。

[00:31:02.160] - Haruka  
そんな感じですね。

[00:31:03.690] - Noriko  
分かりました。じゃあ、次の質問、行きますね。次の質問は今日はちょっと参加されてない生徒さん  
なんですが、東京に住んでいるノアさんから、はるか先生のポッドキャストや教え方は時代と共に、  
時間とともに、どのように変化してきましたかっていう質問なんですけど。

[00:31:22.590] - Haruka  
なるほど。

[00:31:22.590] - Noriko  
ちょっと奥が深いですね。

[00:31:25.680] - Haruka  
なるほど、正直、ちょっと私もまだ経験が浅い。

[00:31:30.660] - Haruka  
まだ日本語の先生になって3年とか。なのであまり変化は正直ないんですけど。

[00:31:41.120] - Haruka  
最近感じるのはやっぱり教科書を使わない人が本当に増えてると思いますね。

[00:31:47.150] - Noriko  
そうだね。

[00:31:50.270] - Haruka  
教科書に頼らないで。

[00:31:53.780] - Haruka  
いい意味で、コンテンツが多いのでね。YOUTUBEもそうですけど、フリーレッスンとかもあるし。  
だからそのリアルな日本語を伝えることが大切なのかなって、最近はすごく感じますね。

[00:32:07.580] - Noriko  
いいですね。だから、ポッドキャストも・・・

[00:32:09.200] - Haruka  
生きている。

[00:32:10.370] - Noriko  
生きている日本語、いいですね。

[00:32:10.820] - Haruka  
そうそうそうそう。

[00:32:13.340] - Noriko  
大切、大切。いや、全く私も同じことを答えるかな。教科書を使わない、くてもいいんだっていう感じ。先生もね、先生も。その、それこそ前は、最初の頃は、教科書しなきゃ、しなきゃみたいなどころから入ってたと思うんだけど、私なんかは。

[00:32:33.170] - Noriko  
でも本当に自由ですね。

[00:32:36.630] - Noriko  
人それぞれ勉強のやり方とかコンテンツ違ってていいんだ、みたいね。

[00:32:41.690] - Haruka  
そうですね。そうですね、と思いましたね。

[00:32:45.470] - Noriko  
わかりました。じゃあの、これは、あの、私が最後、質問です。これも面白い質問ね。はるか先生、生まれ変わったら何の仕事がしたいですか。生まれ変わっても日本語教師がしたいですか。

[00:33:01.700] - Haruka  
いや、うーん、いや、私は生まれ変わったら日本語教師は多分しないですね。

[00:33:10.640] - Haruka  
はい。理由は、別に、日本語教師が嫌いとかつまらないとかじゃなくて。

[00:33:15.280] - Noriko  
わかります、わかります。

[00:33:16.010] - Haruka  
って、基本的に何でも新しいことをしたいタイプ。だからチャンスがもう一回あったら多分同じことはしないっていう感じ。

[00:33:26.000] - Noriko  
私も全く同じ答えでしたね。まあまあいろいろしてみたいんですよね。そうそうそう。ま、

[00:33:33.890] - Noriko

もしかしたらさ。こういう風に生まれて、生まれ変わらないかもしれないので、なんか違うバージョンになってるかもしれないしね。

[00:33:40.520] - Haruka  
確かに、めっちゃイケメンとかになったらね・・・

[00:33:43.550] - Noriko  
イケメンですか。どうする？

[00:33:43.550] - Haruka  
めっちゃイケメンに生まれからったらどうしようって。

[00:33:43.550] - Noriko  
イケメン、惚れる惚れる。みんな。そうそう。

[00:33:51.740] - Haruka  
人生変わるかな、みたいな。

[00:33:54.890] - Noriko  
そうですね。はい、そのとおりでございます。じゃあ、これが最後の質問だったんですよ。ありがとうございます。

[00:34:00.020] - Noriko  
じゃあ、本当に皆さん、今日休みの日なのに来てくれてありがとうございました。で、はるか先生もご協力いただき、ありがとうございました。

[00:34:07.090] - Haruka  
いやいや、全然楽しかったです。ありがとうございます。

[00:34:08.750] - Noriko  
本当に。じゃあ、カナダの生活ね、楽しんで。本当に。

[00:34:12.500] - Haruka  
はい。

[00:34:13.610] - Noriko  
それまでにお話できたらお話したいけど。

[00:34:16.130] - Haruka  
そうですね。そうですね。それまでに。

[00:34:17.960] - Noriko  
はい、お願いします。

[00:34:19.040] - Haruka  
ぜひぜひ。

[00:34:19.190] - Noriko

じゃ、皆さんありがとうございました。

[00:34:21.890] - Haruka  
はい。

[00:34:23.000] - Noriko  
ありがとう。

[00:34:23.550] - 生徒さん  
ありがとうございました。

[00:34:25.100] - Noriko  
はい、みなさん。またね。

[00:34:26.339] - Haruka  
ありがとうございます。

[00:34:27.620] - Noriko  
失礼します。じゃ、はるか先生、失礼します。

[00:34:29.170] - Haruka  
はい、失礼します。

[00:34:30.920] - Noriko  
バイバーイ、切ります。